

講義コード	11C0485700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	元木 靖	開講期	通年
科目名	特殊講義〈地域環境学〉(2009年度以前入学生)					元木 靖		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	人びとが経済活動を行い、生きる場としての「地域」について概説します。第1期は、最初に地域の概念について説明し、そのうえで地域の変化、地域の特徴と諸要素との関係、地域環境を調査する際の技法について紹介します。第2期には、具体的な事例として関東を取り上げ、関東が今日のように日本の中核地として重要な役割を果たすようになってきたこと、その過程で起こってきた地域構造の変化について紹介します。								
到達目標	①「開発」、「環境」、「地域」に関する基礎知識が習得できる。 ②地域を観察するための多様な技法について知ることが出来る。 ③関東に関する基礎的知識を総合的に習得できる ④地域環境を科学的に理解することの意義について認識が深まる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。各自の出身地、あるいは関心を持つ地域について、普段から情報収集に努め、講義で取り上げる話題や問題に対して、積極的に意見を述べるように準備しておくこと。								
授業計画	【第1回】はじめに 【第2回】地域」という用語の原義と変容 【第3回】「地域」の個性発見とその科学的理解 【第4回】地域と開発と環境との相互関係 【第5回】地域を特徴づける諸要素（概説） 【第6回】（1）景観：自然－人間関係を大観する 【第7回】（2）位置：広域における関係位置を考える 【第8回】（3）地名：歴史を考える 【第9回】（4）比較：地域差を考える 【第10回】（5）変化：将来を考える 【第11回】個人・社会と地域とのかかわりについて（討論1） 【第12回】グローバル化がすすむ中で薄れる地域の理解 【第13回】地域の役割－その不変性と可変性について－ 【第14回】「桃源郷」の思想と現代の地域創成の考え方の違い 【第15回】まとめ 【第16回】はじめに 【第17回】環境・文明史のみかた－日本の中の「関東」－ 【第18回】関東の基盤としての自然風土の構成 【第19回】縄文・弥生・古墳文化の痕跡 【第20回】古代国家による「関東」の支配 【第21回】関東の時代に向けた助走期 【第22回】近代化で迎えた関東の時代 【第23回】高度経済成長期以降の変容 【第24回】国際化時代と関東の魅力形成 【第25回】首都・東京を中心とした圏構造の形成 【第26回】自然の違いを反映する関東の土地利用 【第27回】関東に住む人々の地域形成の原理 【第28回】2020年に向け変化する関東の地域構造 【第29回】関東の新しい役割と課題について（討論2） 【第30回】まとめ								
成績評価の方法	テストまたはレポート（80％）と授業への取り組み姿勢（20％）による。								
フィードバックの内容									
教科書	毎回プリントを配布する。								
指定図書	『地域の創成と文明の開化』宮川泰夫（大明堂）2002年、『関東Ⅰ・Ⅱ－地図で読む百年－』寺阪・平岡・元木編（古今書院）2003年、『日本の地域変貌』平岡昭利編（海青社）2008年								
参考書	適宜紹介する。								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									